

議題（1）第2次スポーツ振興計画に係る令和元年度事業実績について
ア 個別事業の実績について

○重点施策1 ラジオ体操の普及啓発

◆ラジオ体操は、誰でも手軽にできる体操です。スポーツをはじめのきっかけづくりや、健康づくりのひとつとして、ラジオ体操の普及啓発に努めます。
◆正しく効果的なラジオ体操ができるよう、スポーツ推進委員との協働による「おはよう！ふれあいラジオ体操会」事業や実技講習会の充実、小中学校をはじめとした関係団体への働きかけ、教本の作成などを行い広く普及啓発に努めます。

項目	内容	事業数		R1実績	H30実績
		基礎年度(H26)	H30		
①ラジオ体操の普及啓発	手軽にできるラジオ体操をスポーツをはじめのきっかけづくりとして活用できるよう、事業や啓発活動の実施		2	2	・NHKテレビ・ラジオ体操指導者によるケンサチラジオ体操会(3月24日):181人 ・おはよう！ふれあいラジオ体操会(夏休み期間)参加実績:1日最大8,614人、延べ42,737人
②ラジオ体操指導会の充実	ラジオ体操の持つ効果を実感できるよう、幅広い世代を対象に、正しい動きを意識した講習会の充実		9	1	・市民向けラジオ体操実技講習会(6月30日):40人 ・教員向けラジオ体操実技講習会(3月10日):中止 ・市民向けラジオ体操実技講習会(7月7日):31人 ・教員向けラジオ体操実技講習会(2月15日):36人 ・まちかど講座ラジオ体操講習会(計5回):121人 ・学校向け講師派遣授業(計2回):289人

○重点施策2 企業とのスポーツ連携の強化

◆市内には、全国や世界で活躍する地元企業のスポーツチームがあります。選手やチームに関する市民への周知やジュニア世代の競技力強化のためのスポーツ指導の充実など、企業との連携強化に努めます。
◆市と地元企業スポーツチームとの補完関係の強化のためのホームチームサポーター事業の創設や、スポーツ大会の充実のため、協賛・ボランティアについて企業への依頼を行います。

項目	内容	事業数		R1実績	H30実績
		基礎年度(H26)	H30		
①ホームチームサポーター事業の推進	安城市にあるトップ企業チームと補完関係を強化し、ジュニア育成やみるスポーツの振興		18	17	・クリニック(技術指導会の実施):2競技 計3回 139人 ・大会応援バスツアー:2チーム 計3回 132人 ※3月AWウイングス応援ツアーは中止 ・啓発イベントの実施(デンパーク、ウェルネス、七夕まつり):3回 ・広報あんじょうへのホームチーム3チーム特集記事掲載:年1回 ・広報あんじょう読者へのプレゼント贈呈イベント:3回 ・広報あんじょう折込で日本リーグ観戦案内チラシを配布:1回 ・市内小中学生への日本リーグ観戦案内チラシ配布:2回 ・デンパーク駅伝でのデンソーブライトペガサスのPR:1回、選手15名参加
②企業と連携した各種施設・各種大会の充実	市体育館・市ソフトボール場のネーミングライツの募集、安城シティマラソン等への協賛・協力企業の充実	2	2	3	・ネーミングライツの募集及び愛称の決定(市体育館:東祥アリーナ安城)(市ソフトボール場:デンソーブライトペガサスタジアム) ・安城シティマラソン協賛協力企業:協賛17社、協力14団体 ・安城市民デンパーク駅伝大会協賛協力企業:協賛17社、協力9団体 ・クリニック(技術指導会の実施):3競技 計3回 333人 ※8月のソフトボールは雨天中止 ・大会応援バスツアー:3チーム各1回 237人 ・啓発イベントの実施(デンパーク、七夕まつり):2回 ・ホームチームの啓発チラシ(広報折込):年1回 ・広報あんじょうの表紙に各チーム掲載:4/1、12/1、1/15 ・広報あんじょう折込で日本リーグ観戦案内チラシを配布:3回 ・体育館リニューアル事業(4月8日):183人 ・ソフトボール場リニューアル事業(7月1日):800人 ・ウィンターカップパブリックビューイング(12月28日):80人

○重点施策3 オリンピック・パラリンピックに関連した取り組み(※主に国際・全国大会推進活動実行委員会の取り組み内容)

◆東京2020オリンピック・パラリンピックは、人々に夢や感動を与えてくれる世紀の一大イベントであり、間近に一流の選手を観ることができる絶好の機会となります。開催気運の向上による大会成功への貢献、市民のスポーツへの興味・関心の向上のため、大会に関する情報の周知や出場選手の紹介、交流機会の創出などに努めます。
◆組織委員会が作成する事前キャンプ候補ガイドへの掲載や、姉妹都市協定を結んでいる都市を仲介しての交渉などによる事前キャンプ地誘致に努めます。

項目	内容	事業数		R1実績	H30実績
		基礎年度(H26)	H30		
①全日本大学女子ソフトボール選手権(インカレ)の開催	全日本大学女子ソフトボール選手権(インカレ)の開催及び県外からからの応援者などとの交流機会の創出			1	・今年度開催地の石川県金沢市での現地視察 ・駐車場対策及びイベント企画等の検討並びに宿泊施設、飲食店及び駅などの協力体制の確認
②東京オリンピック事前合宿の誘致	カナダ女子ソフトボール代表チームに対する東京オリンピック事前合宿の誘致		1		・7月25日から8月1日までの間、ソフトボール世界選手権の事前合宿をカナダ女子ソフトボールチームが実施(ボランティア通訳25人)
③東京オリンピック・パラリンピックに向けた準備	東京オリンピック聖火リレーの誘致をはじめとした東京オリンピック・パラリンピックに向けた準備				・11月8日に東京2020フラッグツアーを実施し、市内園児120人が見学 ・聖火リレーの誘致 ・内閣府へホストタウンの申請(継続審査) ・合宿誘致活動
④日本リーグの開催支援	ホームチームでもある女子ソフトボールチーム「デンソー ブライトペガサス」及び女子バスケットボールチーム「アイシン・エイ・ダブリュ ウイングス」の本拠地開催支援		3	2	・女子ソフトボール(9月7日・8日):5,088人 ・女子バスケットボール(10月26日・27日):2,400人 ・女子バスケットボール(2月29日・3月1日):中止 ・女子ソフトボール(9月8日・9日):3,157人 ・女子バスケットボール(10月28日):1,600人 ・女子バスケットボール(1月26日・27日):1,747人
⑤県強化指定選手奨励金制度の充実	東京オリンピック・パラリンピックを見据え、愛知県で強化指定を受けた選手への更なる支援制度の充実		1	1	・平成30年度指定者数:6人(オリンピック:セーリング、レスリング(2人)、バスケットボール、スポーツクライミング。パラリンピック:ポッチャ。) ・令和元年度指定者数:4人(オリンピック:レスリング2人、フェンシング1人。パラリンピック:ポッチャ1人)

●基本方針1 「する」スポーツの振興

◆誰もが、それぞれの年齢や性差、体力等に応じて、生涯にわたり日常的にスポーツに親しむことができる環境の充実とともに、国際・全国大会などで活躍の機会が増えるよう、競技力の向上を図ります。
◆「する」スポーツの振興を通じて、スポーツの楽しさや爽快感、達成感などを感じることができる機会が増え、多くの人の暮らしが喜びに溢れた豊かなものになることにより、市民の元気な笑顔を広げます。

項目	内容	事業数			R1実績	H30実績
		基礎年度(H26)	H30	R1		
(1)生涯にわたりスポーツに親しめる環境の充実						
①ラジオ体操の推進	誰もががたしみややすく、スポーツを始めるきっかけづくりとして、気軽に実践できるラジオ体操を推進	2	11	2	・「〇重点施策1」参照	・「〇重点施策1」参照
②スポーツをはじめのきっかけとなる機会の提供	ランニングなど、気軽に始められる日常スポーツの取組み機会の充実と提供	2	2	2	・安城シティマラソン(12月8日):2,856人 ・安城市民デンパーク駅伝大会(2月9日):271チーム 1,611人	・安城シティマラソン(12月9日):3,275人 ・安城市民デンパーク駅伝大会(2月10日):276チーム、1,645人
③地域におけるスポーツ機会の提供	初心者でも楽しめるニュースポーツや健康づくりを開催し、地域におけるスポーツ機会の充実	2	2	2	・地域スポーツ振興事業 実績:7,050人(市内21小学校区) ・地域スポーツ交流会 実績:2,782人(市内8中学校区)	・地域スポーツ振興事業 実績:7,471人(市内21小学校区) ・地域スポーツ交流会 実績:3,164人(市内8中学校区)
④ライフステージに応じたスポーツの普及促進	誰もが年齢、性差、体力に応じて、スポーツに親しむことができるようライフステージに応じたスポーツ機会の創出	3	3	3	・安城市スポーツスクール:11教室、延べ1,125人(3期合計) ・歩けランニング運動:21会場、延べ7,861人 ・ファミリーキャンプ(8月17日・18日):43人	・安城市スポーツスクール:11教室、延べ989人(3期合計) ・歩けランニング運動:21会場、延べ7,808人 ・ファミリーキャンプ(8月18日・19日):56人
⑤スポーツ情報の提供充実	スポーツに関する情報や気軽に実践できるスポーツの紹介などの提供の充実				・生涯学習「あんでな」各号にてスポーツ情報の掲載 ・広報「あんじょう」によるスポーツ情報の掲載 ・ニュースポーツの貸出回数:217回	・生涯学習「あんでな」各号にてスポーツ情報の掲載 ・広報「あんじょう」によるスポーツ情報の掲載 ・ニュースポーツの貸出回数:228回
(2)競技スポーツの振興						
①競技大会の開催・支援	各種目別の競技大会を実施し、市民の競技力向上を図る	3	3	2	・安城選手権夏季水泳競技会(8月4日):311人 ・安城選手権秋季競技会(10月5日～11月24日):19競技 延べ3,649人 ・安城選手権冬季スキー競技会:一般(2月16日)及び少年(3月1日)中止	・安城選手権夏季水泳競技会(8月5日):550人 ・安城選手権秋季競技会(10月6日～28日):19競技 延べ3,611人 ・安城選手権冬季スキー競技会:一般(2月17日)51人、少年(3月3日)36人
②全国大会等出場激励金制度の実施	国際大会、全国大会等に出場する選手の意欲向上や活動の支援	1	1	1	・国際大会:4人 ・全国大会:個人245人、団体8(128人)	・国際大会:6人 ・全国大会:個人236人、団体12(180人) ※内、障がい者5人
③スポーツ表彰制度の実施	選手や指導者の功績、スポーツ普及の貢献を讃えるとともに、更なる向上を図る	1	1	1	・功労者:7人 ・優秀選手・団体:64人、17団体	・栄誉者2人 功労者:2人 ・特別優秀選手:3人 ・優秀選手・団体:171人、16団体
④ジュニア選手の育成	体育協会やトップチームと協働し、次代を担うジュニア選手の発掘や競技力向上を図る	1	4	4	・体育協会主催スポーツ教室 実績:15教室 1,441人(3期合計) ・ホームチームによるクリニック(技術指導会の実施):2競技 計3回 139人	・体育協会主催スポーツ教室 実績:15教室 1,454人(3期合計) ・ホームチームによるクリニック(技術指導会の実施):3競技 計3回 延べ333人 ※8月のソフトボールは雨天中止

●基本方針2 「みる」スポーツの振興

◆スポーツをみる楽しさを感じ、さらに、スポーツをするきっかけにつながるよう、関心度の高い競技やトップレベルの試合が観戦できる機会の充実を図ります。
◆「みる」スポーツの振興を通じて、夢や感動を味わうことができる機会が増え、多くの人に、暮らしの新たな楽しみが生じることにより、市民の元気な笑顔を広げます。

項目	内容	事業数			R1実績	H30実績
		基礎年度(H26)	H30	R1		
(1)スポーツ観戦機会の充実						
①模範試合や指導会の開催	トップレベルの試合観戦の機会の提供や地元チームの選手による指導会を実施することでジュニア選手の意欲や競技力向上を図る	1	1	1	・スポーツ観戦事業(2月22日):硬式テニス169人	・スポーツ観戦事業(3月17日):ポッチャ112人
②ハイレベルな試合の開催支援	スポーツへの関心と地元への愛着を高めるため、日本リーグなどのハイレベルな試合の開催支援		6	6	・全日本大学女子ソフトボール選手権(インカレ)の開催(8月29日～9月2日):延べ12,770人 ・ホームチームの大会応援バスツアー:2チーム 計3回 132人 ※3月AWウィングス応援ツアーは中止 ・日本リーグ(女子ソフトボール)(9月7日・8日):5,088人 ・日本リーグ(女子バスケットボール)(10月26日・27日):2,400人 ・日本リーグ(女子バスケットボール)(2月29日・3月1日):中止	・ホームチームの大会応援バスツアー:3チーム各1回 237人 ・日本リーグ(女子ソフトボール)(9月8日・9日):3,157人 ・日本リーグ(女子バスケットボール)(10月28日):1,600人 ・日本リーグ(女子バスケットボール)(1月26日・27日):1,747人
③地元のトップレベル選手・チームの紹介	地元企業チームを身近な存在として感じることができるよう、企業と協働した地域貢献活動の充実				・広報あんじょうへのホームチーム3チーム特集記事掲載:年1回 ・広報あんじょう読者へのプレゼント贈呈イベント:3回 ・デンパーク駅伝でのデンソープライトベガサスのPR:1回、選手15名参加 ・日本ポッチャ選手権大会(12月20日～22日)での梅村祐樹選手の応援	・啓発イベントの実施(デンパーク、七夕まつり):2回 ・ホームチームの啓発チラシ(広報折込):年1回 ・広報あんじょうの表紙に各チーム掲載:4/1、12/1、1/15 ・広報あんじょう折込で日本リーグ観戦案内チラシを配布:3回

●基本方針3 「おしえる」スポーツの振興

◆安全に楽しく、質の高いスポーツの指導が行われるよう、スポーツ指導者の養成を行います。
◆「おしえる」スポーツの振興を通じて、スポーツの指導を行い、指導を受けた者から尊敬され、さらに質の高い指導につながる好循環を生み出します。適切なスポーツ指導が行われ、多くの人が充実感や満足感を味わう機会が増えることにより、市民の元気な笑顔を広げます。

項目	内容	事業数			R1実績	H30実績
		基礎年度(H26)	H30	R1		
(1)優れたスポーツ指導者の養成と活動機会の拡大						
①スポーツ指導者養成講習会への参加促進	優れた指導者を育成するために市独自の指導者講習会を活用した育成・支援の充実	1	1	1	・スポーツ指導者養成講習会:276人(延べ資格保有者:92人)	・スポーツ指導者養成講習会:276人(延べ資格保有者:95人)
②指導者の資質の向上	変化する社会状況に対応した十分な内容を維持するため、最新の情報の提供や指導者の自己啓発機会の充実	1	1		・公開講座の開催(3月7日):中止	・公開講座の開催(2月23日):90人
③スポーツ指導者資格保有者の紹介	スポーツ指導者資格保有者の活動機会の充実・拡大				・有資格指導者のホームページ公開や派遣方法等の活用方法の検討	・有資格指導者のホームページ公開や派遣方法等の活用方法の検討

●基本方針4 「ささえる」スポーツの振興

◆スポーツ推進委員、ボランティア及び協賛企業などが最大限に力を発揮できる環境を整え、スポーツをサポートする体制の強化を図ります。
◆さらにボランティアや企業と連携し、スポーツを「ささえる」輪を広げることで、多くの人の暮らしが心豊かなものになることにより、市民の元気な笑顔を広げます。

項目	内容	事業数			R1実績	H30実績
		基礎年度(H26)	H30	R1		
(1)スポーツ推進委員の活動支援						
①スポーツ推進委員の認知度向上	スポーツ推進委員の認知度向上のための機会の充実や、推進委員独自の交流会の開催				・スポーツ推進委員広報誌「マイスポーツ安城」の発刊 年2回(9月、3月) ・中央交流会の開催(11月23日):74人参加(カローリング)	・スポーツ推進委員広報誌「マイスポーツ安城」の発刊 年2回(9月、3月) ・中央交流会の開催(11月17日):82人参加(カローリング)
②スポーツ推進委員の活動充実	スポーツ推進委員として資質や技能の向上のための研修会や部会の開催				・全体会3回(4月、9月、2月) ・各部会20回(役員会5回、事業部6回、広報部6回、研修部3回) ・スポーツ推進委員研修会10回(市外4回、市内6回) ・西三河地区スポーツ推進委員実技研修会における実技指導(11月9日)	・全体会3回(4月、9月、2月) ・各部会26回(役員会10回、事業部6回、広報部6回、研修部4回) ・スポーツ推進委員研修会9回(市外5回、市内3回) ・ケンサチウェルネスフェスタにてニュースポーツ体験会(6月23日、24日)3,741人 ・東海四県スポーツ推進委員研究大会における研究発表(2月2日)
(2)ボランティアをはじめとする各種協力の拡大						
①ボランティアの育成・支援	市主催大会等にて、市民ボランティアの協力機会の充実と育成の強化	2	3	2	・安城シティマラソン:497人 ・安城市民デンパーク駅伝大会:197人	・安城シティマラソン:483人 ・安城市民デンパーク駅伝大会:239人 ・カナダ女子ソフトボール代表合宿:25人(通訳)
②スポーツ団体、企業等からの協力拡大	企業による協賛や協力による多面的なスポーツ支援の体制作り	2	2	3	・安城シティマラソン:協賛17社、協力14団体、他一般ボランティア ・安城市民デンパーク駅伝大会:協賛17社、協力9団体、他一般ボランティア ・全日本大学女子ソフトボール選手権:140人(市職員)	・安城シティマラソン:協賛18社、協力14団体 他一般ボランティア ・安城市民デンパーク駅伝大会:協賛15社、協力10団体 他一般ボランティア

●基本方針5 スポーツ施設環境の整備

◆気軽に、安心してスポーツ施設を利用することができるよう、スポーツ施設の充実と適切な管理に努めます。
◆スポーツ施設環境の整備を通じて、いつでも、どこでも、誰でもスポーツを手軽に楽しむことができ、多くの人が暮らしに豊かさを感じるにより、市民の元気な笑顔を広げます。

項目	内容	事業数			R1実績	H30実績
		基礎年度(H26)	H30	R1		
(1)スポーツ施設環境の充実						
①スポーツ施設の計画的な整備・充実	スポーツ施設の適正の整備・配置及び維持、スポーツ施設の設備充実、計画的な改修				・レジャープール改修工事(工期H30.6.22～R1.6.21、令和元年7月20日OPEN) ・スポーツセンター改修工事(工期R1.6.26～R2.6.19、令和2年8月2日OPEN) ・ソフトボール場B球場防球ネット等改修工事(工期R2.1.15～R2.3.24) ・秋葉公園テニスコートの移管(R2.1.5～)など	安城市体育館大規模改修、ソフトボール場A球場大規模改修、レジャープール改修工事、野球場防球ネット改修工事、陸上競技場夜間照明設備改修工事 など
②身近なスポーツ施設・整備の充実	庁内で連携し、身近にスポーツが実施できる機会や場所の充実				公園施設の充実など、庁内での連携を強化	公園施設の充実など、庁内での連携の強化に努める
③学校施設の整備等の充実	学校と連携し、活動機会の充実や市民のニーズに応じた器具の充実				市民のニーズに応じた器具の充実や点検し、更新など活動機会の充実	市民のニーズに応じた器具の充実や点検し、更新など活動機会の充実 ※平成30年度より、篠目中学校の夜間テニスコートを開放
(2)スポーツ施設の適切な管理						
①スポーツ施設の利用促進	スポーツ施設をより多くの人が利用できるよう、予約方法など運営方法などサービス向上のための調査、研究				窓口のみの受付としていた時間帯(体育館:12時～13時、テニスコート:12時～13時、その他屋外施設:12時30分～13時)をネットで予約ができるよう変更	冬季のテニスコート利用について、早朝利用ルールの見直しを実施し、利用可能時間を増やした。(8時から7時に前倒した。)
②スポーツ施設における安全確保	スポーツ事故の未然防止のための保守管理・点検機会の充実				バスケットゴール保守点検の実施、スポーツ指導者へのスポーツ医学講習会及びAED講習会の実施など	バスケットゴール保守点検の実施、スポーツ指導者へのスポーツ医学講習会及びAED講習会の実施など

●基本方針6 スポーツ団体等の育成・支援

◆スポーツ団体等の活動充実のため、育成と各種支援を行います。
◆スポーツ団体等の育成・支援を通じて、スポーツが盛んに行われ、多くの人が健康で楽しみを感じながら暮らすことにより、市民の元気な笑顔を広げます。

項目	内容	事業数			R1実績	H30実績
		基礎年度(H26)	H30	R1		
(1)スポーツ団体等の育成・支援						
①ホームチームサポーター事業の創設	市内にあるトップ企業チームと補完関係を強化し、ジュニア指導会や日本リーグの応援などの体制づくりに努めます。				・「〇重点施策2 ①ホームチームサポーター事業の推進」参照	・「〇重点施策2 ①ホームチームサポーター事業の推進」参照
②NPO法人安城市体育協会の組織体制の充実・支援	スポーツ振興の幅広い取り組みを推進していくため、組織体制を支援します。				・一般財団法人安城市スポーツ協会の設立(H31.4.1) ・安城選手権を始めとした様々な競技運営の委託を通じた競技力の向上	安城選手権を始めとした様々な競技運営を委託し、競技力の向上と組織の支援体制の充実
③各種スポーツ団体の育成・支援	総合型地域スポーツクラブの地密着・充実など各種スポーツ団体の活動を支援し、新たな団体の育成に努めます。				・スポーツウェルネス吹矢協会、ミニテニス協会の体育協会への加盟決定 ・地域で継続して活動できる支援の充実と育成の実施	地域で継続して活動できる支援の充実と育成の実施

●基本方針7 オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興

◆東京2020オリンピック・パラリンピックなど国際大会を控え、開催気運やスポーツに対する関心が高まるなか、こうした動向をさらに大きなものにするための機会の創出や情報共有に努めます。
◆オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興を通じて、多くの人が、スポーツの素晴らしさを再認識し、スポーツに親しみ、関わり、健康で心豊かに暮らすことにより、市民の元気な笑顔を広げます。

項目	内容	事業数			R1実績	H30実績
		基礎年度(H26)	H30	R1		
(1)オリンピック・パラリンピックなどの開催気運と関心の向上						
①オリンピック・パラリンピックなどの開催気運の向上	東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、交流機会の創出や大会情報の提供など、開催気運の向上に繋がる取組みに努めます。				・「〇重点施策3」参照 ・アジア大会開催に向けた諸会議への参加等を通じた情報収集、調査研究	・「〇重点施策3」参照 ・アジア大会などの国際大会または全国大会の開催に伴う、本市での開催及び合宿誘致などの機会充実のための調査研究の実施
②スポーツに対する関心の向上	国際大会の開催によるスポーツに対する高まりを好機にとらえ、スポーツの素晴らしさを再認識できるよう、情報提供に努めます。					